

無実の人の人生を奪ってはいけない！ 今も冤罪に苦しむ人たちのために

第1部

獄中で生まれた歌と詩 ゲスト：佐藤光政



ピアノ：鈴木光介



詩朗読：田中泰子



歌：桜井昌司

これまでに布川事件の闘いは、沢山の皆さんのお力添えを得まして、色々なことを行って来ました。その結果は再審や冤罪の闘いに大きな力となりました。

今回、金聖雄監督の映画「獄友」を切っ掛けに作られた獄友バンドの中心である、小室等さんたちのご協力で行いますコンサートが、また新しい力を生み出すものになればと願っています。

桜井昌司

NO MORE ENZAI!

桜井昌司と仲間たちによるチャリティーライブ2018

第2部 (友情出演)

ライブ：桜井昌司と獄友イノセンスバンド



竹田裕美子



河野“菌ちゃん”俊二



李 政美



中川五郎



こむろゆい



小室 等

とき：10月29日(月)

場所：きゅりあん 1F小ホール

品川区東大井 5-18-1

開場：17:30 / 開演：18:30 (～ 20:45)

入場料：2000円 (前売券 1500円)



♡チケット（前売券）申込方法

Fax. 又は E-mail でお申し込みください。
振込用紙とともにチケットをお送りします。

郵便振替で右口座にお振込みいただければ、
チケットをお送りします。

Fax 03-6278-9798
E-mail kwnttp153@ybb.ne.jp

口座番号 00170-8-485425
口座名 布川国賠を支援する会

◎収益金は、最高裁で闘っている冤罪事件へのカンパとさせていただきます。

NO MORE ENZAI!
桜井昌司と仲間たちによるチャリティーライブ 2018

出演者プロフィール

◎第1部

桜井昌司

1967年20歳の時逮捕されて、布川で起きた強盗殺人の犯人にでっち上げられ、29年間壁の中での生活を余儀なくされた。仮釈放後の第2次再審請求で、2011年、再審無罪となった。現在は、他の冤罪事件の被害者とともに冤罪をなくすための活動を幅広く展開している。獄中で自ら作った「うた」を歌う活動も行っている。

田中泰子

演劇を学んだ後、朗読の世界へ。一葉記念館、太宰治文学サロン、吉村昭研究会など出演。邦楽、クラシック、シャンソンとのコラボ等幅広く活動。地唄舞の師範でもあり「語りと舞の会」も好評。「壁のうた」の朗読は大切なライフワークの一つであり、「袴田事件朗読劇」にも出演。一葉記念館、産経学園他講師。

鈴木光介

茨城県取手市の音楽大好き家族の次男。2000年より劇団時々自動に参加、独学で作曲を開始。主に作曲、演奏を担当する。演奏可能楽器は、トランペット、キーボード、ホルン、口琴、パチカ、ウクレレなど（うまい順）。

佐藤光政

声楽家・二期会会員。1983年、獄中の桜井さんを訪ね、曲作りを教えた。1984年の獄中の桜井さん杉山さんを支援する「壁のうたコンサート」を皮切りに、以後、二人が2011年に再審無罪となるまで、総計39回の支援コンサートを行い、桜井さんらの再審無罪に大いに貢献した。

◎第2部

小室 等

1968年グループ「六文銭」を結成。1971年第2回世界歌謡祭にて、上條恒彦+六文銭による「出発の歌」でグランプリを獲得。1975年泉谷しげる・井上陽水・吉田拓郎と「フォーライフレコード」を設立。2011年7月11日、「音楽活動50周年ライブ～復興～」を全労済ホール スペース・ゼロにて行う。現在はライブ活動を中心に、テレビドラマ・映画などの音楽制作、ドキュメンタリー作品のナレーション、連絡コラムの執筆などその活動は多岐にわたる。昨年秋に全編谷川俊太郎氏の詩によるアルバム「プロテストソング2」をリリース。本年2月に詩と楽譜と小室等による谷川俊太郎ロングインタビューを収録した書籍「プロテストソング」を発行。

こむろゆい

いくつかのバンド活動を経て、1999年 NHK「みんなのうた」に採用された自作曲『ひとつのドア』が FLMEよりシングルとして発売を機にCDデビュー。現在はウクレレ弾き語りによるライブ活動の他、父、小室等とのユニット「Lagniappe」や、「六文銭'09」などユニットでの活動を展開中。また、DVD「日本のアウトサイダーアート」などのナレーションの活動も。

河野“菌ちゃん”俊二

大学でジャズ研究会に所属し在学中よりライブ活動を始める。2005年に中川イサト率いる「武蔵野レビュー」への参加を機に脱サラでプロミュージシャンに転向。秋本奈緒美、大谷亮介、キムラ緑子、及川恒平、清水國明など多くのアーティストのライブサポートのほか、都内、関東近県、東海地方を中心にカホンのレッスンやクリニックで後進の育成にも力を注いでいる。

竹田裕美子（通称 金ちゃん）Pf, Accordion, Keyboards

1972年、Early Times Strings Bandに参加。以来、小室等、加藤登紀子、白鳥英美子、伊藤多喜男、さとう宗幸など、多くのアーティストのステージ及びスタジオワークをサポートしている。1989年には民謡の伊藤多喜男のバンドメンバーとして紅白歌合戦に出演。現在は、E.T.S.B.(1997年活動再開)、五つの赤い風船(2000年再結成)、また渡辺勝とのデュオ、李政美などのサポートメンバーとして、音楽活動を続けている。

いぢょんみ / LeeJeongmi

済州島生まれの両親のもと、6人兄弟の末っ子として東京・葛飾で生まれ。オペラ歌手を夢見て、民族学校から国立音楽大学声楽科に進む。子育て・充電期間を経てオリジナル曲をつくりはじめ、以来、ライブ、コンサートを展開。03年には、韓国・ソウルで初のコンサートを実現。『李政美LIVE2011—いのちの讃歌』、『板橋文夫×李政美—DUO—』、韓国語盤CD『チグムヨギエイソヨ』など作品多数。今夏、三年ぶりのCDアルバム『おとと ことばと ころで』発表予定。

中川五郎

1949年大阪生まれ。60年代半ばからアメリカのフォークソングの影響を受けて、曲を作って歌い始める。70年代に入ってから音楽に関する文章の執筆や歌詞の対訳、その後小説の執筆や翻訳も手がける。最新アルバムは2017年の『どうぞ裸になって下さい』。現在、新しい曲を作りつつ、日本各地でさかんにライブを行なっている。